



市制施行70周年 記念応援団をご紹介



藤本 憲明さん
プロサッカー選手（ヴィッセル神戸）



山田 和英さん
元プロ野球選手（阪神タイガース）



橋本 恋さん
プロサーフィン選手



大西 ユカリさん
歌手



鶉野 昭彦さん
劇作家・演出家



井阪 あゆみさん
ピアニスト、星のソムリエ®



奥田 なな子さん
チェリスト



奥田 章子さん
ヴァイオリニスト



太田 真紀さん
声楽家

本市にゆかりのある著名人によって結成された「市制施行70周年記念応援団」の皆さんをご紹介します。今月は、スポーツ・芸術の分野で活躍される方々を中心に紹介します。

市制施行70周年記念事業

「富田林ええとこ川柳」 入選作品決定

市制施行70周年を記念して、「富田林のええとこ」をテーマに川柳を募集したところ、一般・ジュニアの部合わせて202人ものご応募がありました。

応募作品の中から、一般・ジュニアの部からそれぞれ3点の作品が入賞作品として選ばれました。皆さんからのたくさんのご応募、ありがとうございました。
(作品・氏名／ペンネーム)

【一般の部】

―天賞―

軽トラの千両^{ちから}茄子は宝箱

奥野 芳三

―地賞―

思い出は清き石川淡き恋

太田 富美子

―人賞―

あてまげで絆にあえるかくれんぼ

関 よしみ

【ジュニアの部】

―天賞―

えびいもはぶたじるあつたかほくほくだ

松下 希咲

―地賞―

虹架ける金剛山が見える町

鈴木 歩音

―人賞―

金たい寺山上にのぼって空をみた

岩井 睦希

問い合わせ 生涯学習課 (☎26) 8056

市制施行70周年記念事業

市長と語る

ふれあい座談会

トピック (きらめき創造館) を活気ある施設にするため集まった若者たち

「Topic 青少年委員会」とは
Topicは、若者の育成拠点として、また生涯学習の推進拠点として、多くの市民の皆さまにご利用いただいています。平成29年にオープンするその1年前から公募で集まった市内の高校生や大学生を中心に、新施設での取り組みや、運用・ルールなどを、若者自身が考え、それをカタチにしてみました。「Topic」という愛称も青少年委員会でご提案されたものです。

— 新型コロナウイルスで皆さんの生活にどのような影響がありましたか。
・ 修学旅行で海外に行く予定が国内になったことや、体育祭がなくなってしまうことが残念でした。
・ 学校再開後、授業についていくのが大変でした。
・ 大学はずっとオンライン授業でしたが、外に出る必要もないので、私はさほど苦になりませんでした。
— 富田林市では、コロナ禍において人を差別したり排除したりしない、「人権尊重のまち」というメッセージを出しました。みんなできいっしょに乗り越えていきましょう。



— 「輝く若者になるには？」というテーマで話をしたいと思いますが、青少年委員の皆さんが思う「輝いている人」とはどのようなイメージの人でしょうか。
・ 一人一人が自分の想いをもって生きている人。
・ 自分の置かれている状況



に対して言い訳をせず、一生懸命チャレンジしている人。

・ 何か目標に向かって頑張っている人が輝いている人だと思ったり、そういう人は尊敬できます。

— では、輝いている人になるには自分をどう変えていけばいいでしょうか。
・ いろんな人と出会うことで輝けると思います。例えば、Topicに来ればロビースタッフの人たちと会えるし、成人式のときの市長と語ろう会も私にとつていい経験でした。

・ Topicでいろんな人に出会って、歴史好きの仲間とサークルを作りました。富田林寺内町など自分たちで調べたことをSNSで発信しています。

・ 自分の個性を大切にしていきたい。自分の個性に向き合うことで気づき・発見ができると思います。

— 次に、自分が市長だったらどんなことをしたいですか。
・ これからの日本では、家の隣の工場で野菜をつくる

とか、そういうのが当たり前になってくるのではないのでしょうか。そういう意味で富田林は都市と農地がいて、理想的なまちです。私が市長だったら、家庭菜園とか、もっと市民に農業に親しんでもらうような施策を提案したいです。

とか、私が市長だったら、市民の皆さんに自分のおかしな姿を見せていきたいと思えます。何か新しいことに取り組んでみようとしたとき、どうしても二の足を踏んでしまいます。でも、市長自らおかしな姿を見せることで、「市長があれくらいおかしなんだったら自分も大丈夫かな」とか、なんとなく安心してもらえるような気がします。こんな市長だったら、市民の人にも受け入れられやすいんじゃないかと思えます。

— 今は、カリスマ的存在の
人がぐいぐい引張っているという時代ではなく、自分たちでできる部分は自分たちでやろうと、そういうことが言える雰囲気をつくることが重要で、ラグビー日本代表の「ワンチーム」のように、いかにワンチームになれるかが大事ですね。



みんなそれぞれできることをして、それぞれの役割を担って、市長と市職員がともにワンチームをつくって市政に取り組んでいきたいと思っています。
お問い合わせ 生涯学習課 (☎26)8056

市制施行70周年記念応援団パネル展示を開催

市制施行70周年記念応援団の皆さんをご紹介します。パネル展示を、市内公共施設などで順次開催しています。パネルには応援団の皆さんの写真や、プロフィール、市制施行70周年をお祝いするコメントなどを掲載していますので、ぜひご覧ください。
※展示場所など詳しくは、市ウェブサイト（市制施行70周年記念特設ページ）をご覧ください。

お問い合わせ 都市魅力課（内線329）